



# SHIRAKABA PRESS

学校法人 白樺学園  
発行／白樺学園高等学校  
編集／PTA広報部  
Design・Print／(株)シービーエス  
http://www.obihiro.ac.jp/~sirakaba/  
E-mail sirakaba@obihiro.ac.jp  
〒082-0082 河西郡芽室町北伏古東7線10番1  
TEL 0155-62-7411(代表) FAX 0155-62-7412  
発行日 平成24年9月1日



## インターハイ出場おめでとう!!

### 陸上部

インターハイを終えて

3-C 蓮井 健太郎

7月29日から新潟の東北電力ビッグスワンスタジアムで行われたインターハイに12名が出場しました。会場はとても大きく、今までに経験したことのない緊張感と、北海道とは全く違う暑さの中で競技をするのが大変でした。その中でも一人一人が自分の競技を全力でプレーしました。結果としては、予選を通過することは、できませんでした。インターハイという大舞台で自己記録を更新することができました。今年のこの経験を生かして、来年は後輩達がきっと活躍してくれると思います。

僕はこの夏休みで引退となりますが、高校で一番大きい大会に二度も出場させてくれた、3年間一生懸命指導して下さった先生、いつも一番応援してくれている親、そして毎日共に辛い練習を乗り越え、支え合ってきた仲間には本当に感謝しています。インターハイで活躍して、恩返しするのが僕の夢であり目標でもありましたが、達成することができませんでした。でもこういう人達がいなければこんな大きい目標を立てることもできなかったと思います。なのでインターハイで精一杯走ったことが、僕なりの恩返しになったと思います。小学校3年から10年間続けてきて、体だけではなく、心も大きく成長できたと思います。10年間で携わってきた全ての人に感謝し、この陸上で学んできたことを、社会に出てからも生かしていきたいです。



## 野球部 北北海道大会を終えて

3-C 中村 隆之介

僕はこの白樺学園野球部に入学して早くも最後の夏を迎えました。僕は今までも入学したての頃を鮮明に覚えています。

1年の頃はただ、がむしゃらに先輩の背中に追いつこうと頑張っていたことも、試合の時は声がかかるくらいまで応援していたことも今の僕にとっては大切なことだったんだなと思いました。

2年の頃は学校や部活にも慣れて、ある程度余裕ができてきて、試合にも出るようになり、より一層練習に励んでいると、あの高校球児の聖地「甲子園」に出場することが出来ました。今でもあの舞台上で野球ができたことは忘れられません。そして新チームになり、キャプテンに任命されて毎日が不安で仕方がなかった日々は今でも覚えています。

そして最後の年、3年生になって春はすごく苦しみました。ですが、夏には必ず良い結果を出そうと頑張りましたが残念ながら果たすことが出来ませんでした。そして、僕の高校野球が幕を閉じました。

このように僕の長かったような短かった高校野球の三年間が終わってしまいました。ですが、僕は大きな財産を得ることができました。そしてそれは大きく分けて二つあります。一つ目は甲子園という舞台でプレーができたことです。それは僕の野球人生に大きな変化をもたらしてくれました。二つ目はチームメイトと共に乗り越えてきた日々です。それは僕にとって一番の宝物になりました。こんな経験ができて本当に高校野球は最高でした。

そして最後に今まで応援してくださった皆様本当にありがとうございました。皆様の応援や支援がなかったら、僕達はこんなにも思い切り野球はできてなかったと思います。本当は勝利という形で恩返しをしたかったのですが、それができなくて悔しい気持ちでいっぱいですが、きっと後輩達がこの悔しさをバネに頑張ってくれると思うので、これからも白樺学園野球部の応援をよろしくお願いします。



## 2012年夏雑感

白樺学園高等学校  
校長 三浦 邦朗



今年の5月、暑い夏は来るのだろうかと感じていた。7月に入り連日の猛暑、やはり夏は来た。本州では連日35度以上を記録。熱中症で病院に搬送され、命を落とす人もいます。今年は電気予報というものが出現した。電気の需要が供給を上まわった時、計画停電するという、その為の予報が電気予報。停電にならない様節電に努めたいと思っている。

第30回目のオリンピックがロンドンで始まった。東京オリンピックをリアルタイムで観た者として、時代の流れを感じる。違和感の一つは入場行進。昔は隊列を作り整然と行進しており、一つの秩序があった。今は自由が優先しているのか、平和の祭典だからか、老いた私には理解できない。二つ目は金メダル至上主義的な色彩が増々強くなっていないか?バドミントンでは没収試合があり、ボクシングでは不公平なジャッジをしたとして審判が追放された。水泳、柔道、体操でも抗議で判定が覆った。選手達は金メダルが取れなくて悔しいと涙をこぼす。4年間血のにじむ様な厳しい練習してきた者だから言える言葉だと思う。レスリングのある選手は「この4年間、頑張ってきた自分を褒めてあげたい」として「支えてくれた人々に感謝したい」とこの言葉に安堵を感じる。オリンピックの父クーベルタンは「オリンピックは勝つことではなく、参加することこそ意義がある」と言った。この原点を忘れてはいけない。スポーツは観ている者に多くの感動を与え、勇気や希望を与える。本校体育コースのアスリート達も夢や希望を与えられる様な選手であって欲しい。もう一つ昨年10月、大津で中学2年生が自殺した。いじめと自殺の因果関係をこの夏休み警察は調べているという。この問題で感じるのは「なぜ」という疑問だけだ。なぜ今頃になって、なぜ保護者説明会に担任は欠席したのか等々。詳しいことは解らないので述べないが、学校と家庭が協力して子どもを育てるという視点が欠如してはいないか?改めてPTA活動(親と学校の共同活動)の大切さを痛感する。学校も後半戦を迎えます。会員の皆様の白樺教育への御理解、御協力をお願いします。

## PTA活動にご協力有難う御座います

PTA会長 小杉山 哲也



日頃から教職員および父母の皆様におかれましては、当PTA活動へのご理解と多大なご協力に厚くお礼申し上げます。2012年度も厚生部で行われましたミニバレー大会をはじめ、懇親会、施設部での校内環境整備に多くのご父母の方々にご参加、ご協力いただきありがとうございました。また、白樺祭におきましても、リサイクル市、おふくろバザー、物産展に多くの方々にご協力いただき、盛大に行うことが出来ました。今後も、子どもたちが安心して学校生活を送る上での環境整備や会員同士の親睦・交流に向けて、各専門部や学級PTAの活動を盛り上げて頂きますようお願い致します。

さて、ロンドン五輪が閉幕し日本の選手は見事な成績を残されました。自分の夢を追いかけ、死にものぐるいで4年間練習し、大きな舞台上で勝負し全力で戦う姿はとても感動しました。白樺の生徒も同じと言えます。自分の夢を追いかける為、白樺学園を選び1年生から三年間一生懸命練習し、いろんな大会で全力投球で挑戦する子供たちに感動しております。今年も体育コースは、陸上部のインターハイの出場はもちろんのこと、競技において、好成績を上げてくれました。アイスホッケー部は8月8日に全国高校選抜大会で、駒大付属苫小牧高校に勝利し優勝。また、文化の面では、吹奏楽部が8月4日に行われた帯広地区吹奏楽コンクールで見事金賞を受賞し全道大会に出場を決め、写真部も金賞を獲得しました。今後、いろんな分野で子供たちの成長を楽しみながら期待していきたいです。

1年生は学校生活にも慣れて、仲間たちと勉強やクラブ活動に励んでいるところでしょうか。2年生はこれから修学旅行に行くこととなります。より多くの友達を作り、修学旅行でいろんな事を体験し学び、自分の将来像を少しでも形作れる旅行にしてほしいです。3年生は自分の夢や目標に向かって懸命に毎日努力していることでしょうか。焦らず、コツコツと努力することが大切です。将来その頑張りが自分にとってプラスとなります。悩んだり、苦しいときは誰かに相談して下さい。教職員や父母、そして友達など、周りにはたくさんの方がいます。必ず解決することができ、視野が広がります。これからの高校生活が更に充実し、仲間たちと青春の思い出をたくさん作って下さい。

最後になりますが、教職員と生徒、保護者が一体となって、白樺学園高校PTA活動を盛り上げていきたいと思っております。前役員の申し送りでもありますようにPTA活動は親が楽しむ事が大事と言われていました。私もその通りだと思います。親が楽しめなければ子供も楽しめない。父母の方々PTA活動を楽しむ事ができるよう精一杯努力していきますので皆様のご協力を宜しくお願い致します。

# 第48回白樺祭

白樺祭実行委員長 追切 駿平

初めまして、今年の白樺祭実行委員長を勤めさせてもらいました3年C組追切駿平です。白樺祭三年目を迎えて、こう言う風に白樺祭をバックアップする方に行くのは初めてで、最初は「大丈夫だ」とか「簡単だ」とか言っていました。でも白樺祭準備が始まって実行委員会が始まって、実行委員長の仕事も増えてきて大変でした。自分は、白樺祭実行委員長として山本先生とラジオに出て白樺祭の宣伝をしました。ラジオは、本当に緊張して何も喋れませんでした。でもこれが実行委員長になって初めての仕事だったし、全然喋れなかった訳じゃないから帰ってきて先生方が「よかったよ、お疲れ様」って言ってきて正直嬉しかったです。それからの仕事はポスター貼りや夜の見回りがありました。ポスター貼りは全員で協力して色々な店に貼りに行って、全員が帰って来たのは二時間後とか三時間後ぐらいで、しかも全部の店を回って帰る時に外は結構な大雨で体が濡れて寒いで帰って来た事が一番辛かったです。それから数日経って夜の見回りをしました。夜の見回りの内容は、「窓カギが閉まっているか、後片付けできているか、電気は消えているか」とかを見回り点検をしました。そんなこんなで、いよいよ白樺祭が始まって、クラスで準備してきた物を見たり、食べたり、聞いたりして、一日目があっという間に終わってしまい、あっという間に二日目が始まってしまいました。一日目はやっぱり合唱で結構盛り上がって、二日目は、クラスステージ、ミスandミスターコンテストが盛り上がりました。どちらも本当に盛り上がってくれてよかったし、色々準備して来てよかったなと思いました。ポスター貼り、夜の見回り、ラジオ出演、全部やって来て本当によかったと終わって思いました。白樺祭が事故無く、無事に終わったことが一番良かったです。最後に三年間白樺祭をやってきたけど今年が一番楽しかったです。来年白樺祭実行委員会に入る人は頑張ってください。



総合優勝 3年D組



準優勝 3年C組



## 第48回 白樺祭 結果発表

(成績発表)

総合優勝 3年D組	準優勝 3年C組	第3位 3年A組
垂れ幕 —— 金賞 3年D組	クラス展示 —— 金賞 2年A組	
合唱 —— 金賞 3年C組	クラスTシャツ —— 金賞 3年D組	
	曲「世界に一つだけの花」	
ステージ発表 —— 金賞 3年D組		

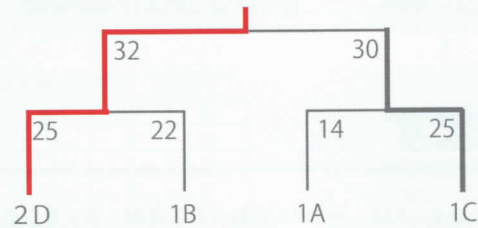


Tシャツ2B



# PTA 厚生部 ミニバレー大会

PAT ミニバレー 決勝トーナメント



PTA 厚生部 小川 恵美

毎年、たくさんの保護者の方々に参加して頂き、新1年生を迎え、2年生はクラス替えもあり、新しい顔ぶれもあって先生方とのふれあいもあり大いに親睦を深める事ができています。毎年クラス T シャツを作って気分を盛り上げるチームもあって、今年は人数が集まらずに合同チームになってしまうようなこともなく、皆さん協力的で、とても良かったと思います。練習にもお忙しい中多くの方々に参加して頂き、本番も沢山の参加者で盛大に開催することができました。本当に有難うございます。優勝チーム、準優勝チーム、3位までのチームには商品券が贈られるので、どのチームも親睦とはいえ、プライドと勝負に賭ける思いもあり、白熱した戦いが随所にみられ、珍プレー好プレーも飛び出しおいに盛り上がりました。大会終了後の懇親会では、学年ごとに焼肉の台を囲み、ミニバレーの反省やクラスの活動、クラブ、部活動の様子なども知る事ができ、色々な情報交換にもなり、皆さんで楽しい時間を過ごす事ができました。皆様の御協力により今年も怪我もなく、無事に成功する事ができ心より感謝申し上げます。是非、来年度も一人でも多くの保護者の方々に参加して頂き、これからも PTA ミニバレーを大いに盛り上げていきたいと思ひます。初めての方も白樺学園の行事にも気軽に参加して頂き、積極的に保護者の方や先生方とも親睦を深めていって欲しいと思ひます。





合唱 銀賞3年B組

写真提供 3年B組 写真部 太田 愛斗

## 成績一覧表

	1A	1B	1C	1D	2A	2B	2C	2D	3A	3B	3C	3D
賞									銀 80	銅 60		金 100
展示				金 100	銅 60				銀 80			
表彰									銅 60	銀 80	金 100	銀 80
発表					銅 60					銅 60	銀 80	金 100
発表							銀 80				銅 60	金 100
発表												ボーナス60
金賞100点												
銀賞80点												
銅賞60点												
ボーナス60点												
点	0	0	0	0	100	120	0	80	220	200	240	440
位	8	8	8	8	6	5	8	7	3	4	準優勝	優勝

## 親父の会・あたりまえ体操 ヘビーローテーション

2年A組 芦澤 満

ちょっと古い話題ですが、2011年の1月に元1年A組でオヤジの会を開催しました。巷では、女子会が話題になる中、男子も負けてなるモノかとの思いで、オヤジ達の熱い要請の声を受けて、楽しく飲む機会を開きました。紙面には絶対には書くことはできませんが、それぞれ腹を割った話に盛り上がり、ギャグトークならずオヤジトーク炸裂でした。

さて、私達は、多感な高校生達にどんな未来を語れるのでしょうか？ただ、言えることは、保護者に先生を交えて仲良く子どものことを考えることができれば、夢の共有もできるものと確信しています。

さて、今夏、白樺祭で現2年A組のお父さんとお母さん方10名がステージジャックをしました。白樺祭は生徒会、学校、そして、PTAが主催です。保護者の立場で堂々とデビューしないと、第二の青春を楽しまないと、もったいないとの思いがありました。

実は兼ねてより生徒たちに私達を魅せたいねとPTA会長を中心に懇親会の中で常に話題になっていたことだったのです。当初はオヤジ達が嵐や関ジャニ∞をステージで披露しようと計画を練っていたのですが、せっかくならお母さん方も誘って披露する事になりました。

白樺祭当日のステージでは、男子会による「あたりまえ体操」を前菜に添えて、女子会によるAKB48の「ヘビーローテーション」のダンスを主菜に、生徒らの拍手喝采を浴びることができました。数回の飲み会（カラオケ練習兼打合せ）、自宅や学校での練習を繰り返しながら、良い汗をかくことができました。

オヤジにお母さん方が、馬鹿になってオトナの姿を見せることで、生徒らにメッセージが伝わったでしょうか？間違いなく諸君の未来を見せることはできたでしょう。幸か不幸か、君たちもこんなオトナになるんだわと。さて、来年は何をするのでしょうかね。懇親会やオヤジの会を開いて話を進めないと。

## ■おふくろバザーを終えて ■白樺祭展示を終えて

PTA教養部 増田 恵子

2日間、天候にも恵まれて、大盛況のうちに終わることができ、ほっとしています。準備段階では色々試行錯誤をしながら進めていき、どうなることかと思いましたが、当日は、炎天下の中、黙々と肉を焼いてくださったお父さんや、あーでもない、こーでもないと思いを絞りにながらカレーを作ってくれたお母さん達、皆さんのパワーとチームワークの良さに助けられました。ご協力に感謝いたします。また、普段見ることのない子どもたちの様子が見られたり、遠方から来てくれた方々といろんなお話ができたり、親も一緒に学園祭を楽しむことができました。ありがとうございました。教養部としては、後期に教養講座の企画もあります。多数の参加、お待ちしております。

## ■リサイクル市出品の御礼

厚生部 部長 小川 恵美

今年の夏も白樺学園の生徒達の活躍にたくさんの元気をもらい、学園祭では、子ども達の頑張りや笑顔を見せて頂き、一緒に保護者も楽しい時間を過ごすことができました。厚生部でのリサイクル市も、今年で4年目を迎え今年もリサイクル品がどの位集まるのか少々心配もありましたが皆様の御協力のおかげで今年もたくさんの品物が集まりました。当日もお忙しい中、協力していただいた先生方、お手伝いしていただいた厚生部の方々にも、お礼申し上げます。収益金は全て生徒に還元させて頂いているので、保護者の方々の協力がなければできませんし、不要品とはいえ、新品ばかりなので、遠方の方からの提供もとても有難く思います。あっとい間に売れてしまう物もあって毎年楽しみに足を運んで頂いている方もいて、交流の場にもなっています。まだ、いらっしゃった事のない方も、一度是非足を運んで頂きたいと思っております。最後になりましたが、リサイクル品を提供して頂いた方々、購入して頂いた方々、本当に有難うございました。

PTA施設部長 住谷 三枝

今年度の白樺祭を無事終わる事が出来ほっとしております。今回で3回目の白樺祭を経験し生徒の白樺祭にける思いや情熱を感じ取る事が出来ました。

当施設部では、毎年教職員、保護者からの作品展示を行っておりますが、今年度は、PTAで作製したプリザーブドフラワーの他に、「油絵」「レース編み」「パンフラワー」「トールペイント」など貴重な作品を多数お借りし盛り沢山の内容となりました。また芽室町のアマチュアカメラマンの方が東日本大震災の折りに、ボランティアで東北へ行かれた時の写真展を同時に開催して頂きました。現地での様子が遠く離れた私達にも伝わるような写真を多数準備して下さい、被災地の現状を少しでも知る機会を与えて下さいました。

今年も皆様の展示物の提供により、充実した内容になり感謝しております。来年も白樺祭の成功を願っております。最後になりますが、施設部の部員の方々、PTAの皆様、白樺祭の御協力本当に有難うございました。

## ■PTA物産展を終えて

PTA 広報部 山口 佳子

7月7日、8日に白樺祭が行われ、広報部では、毎年大好評の物産展を今年も開くことができました。

時期的に、野菜不足ということもあり、今年も物産集めに大変苦労しました。先生方の協力により、有料で仕入れることになったのですが、激安で販売し利益が少なくなりました。しかしOBの方々から無料の野菜を沢山提供してもらうことができ、売り上げにつなげることができました。商品提供に御協力くださった皆様のご好みに、心から感謝いたします。ありがとうございました。

これからも、学校祭に来てくれた方に喜んでもらう、満足してもらうという考えのもと、活動していけたらと思っています。

## プリザーブドフラワー

PTA 教養部 吉田 勇介

PTA 教養講座として毎年恒例となっているプリザーブドフラワーを今年も企画しました。今回も、「有限会社フローリスト花ごよみ」の右田先生に講師をお願いしました。昨年と違った種類の作品を作成することになり、壁にたて掛けるタイプのもを準備して頂きました。今回は26名の参加で大盛況の講座となりました。20センチ四方の枠に花を3つ飾ります。他に草やカラーボールでその花たちを引き立たせます。与えられるのは同じ材料でも、作成者のオリジナリティを出しながら、参加者全員で楽しみながら作成しました。教員で参加した磯貝先生は「真剣に取り組み、綺麗な作品が出来て感動しました」と言っていました。

秋には教養部として第2回の講座を開きます。たくさんの方に参加してもらいたいと思っています。



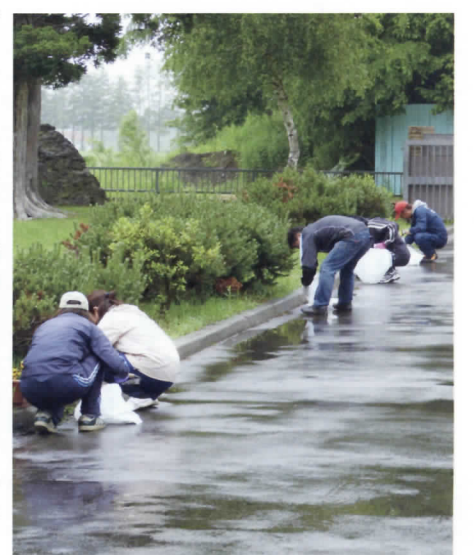
## 環境整備を振り返って

PTA 施設部 大内 康至

去る6月24日、PTA施設部による環境整備が行われました。当日は悪天候ながら、40名近くお母さん方にお集まり頂き、この場をお借りして改めて感謝させて頂きたいと思っております。

当初は噴水前の雑草取り・校舎のゴミ拾い・ラグビー場の石拾いが予定されていましたが、朝から雨が降っていたため、校舎の中のガラス拭きがメインとなってしまいました。約2時間ちょっとの時間でありましたが、白樺ホールを中心に各階の廊下など普段できない場所も拭いて頂き、見聞違えるようにきれいになりました。また屋内ということもあり、しばし笑談しながらの作業となったので、あっとい間に時間が過ぎていきました。終了後はお弁当を配布させて頂き、校長先生、施設部長の住谷さんにご挨拶して解散となりましたが、良い雰囲気の中で終了することができました。

来年度は今年出来なかった作業をできたらという思いがありますので、またご協力をお願いしたいと思います。ありがとうございました。





写真部

2年A組 中山 加菜

現在写真部では撮影はもちろんのこと、展示会、コンクールや大会、学校の行事でも撮影をするなど、活動の幅を広げています。

撮影では、学校の周りや屋上で撮影をし、春期高文連写真展で賞を受賞しました。他には、野球部の練習風景や、試合の撮影、今年の全校応援では、選手だけでなく観客も撮影することができました。撮影した写真は、学校のホームページへ提供しています。

学校行事には積極的に参加しています。部員も増え、1年生も自分でカメラを握り、高体連では各場所に撮影に行くことができました。今年は白樺祭において、準備期間から本番までの撮影、白樺ホールにて展示会を開催することができるようになりました。展示会では、部員たちで配置を考え、貼り付けをしました。撮影の面では、生き生きとした生徒たちが撮れたと思います。学祭後、写真を展示し、たくさんの生徒が見に来てくれていました。

休日には、カメラをローテーションして撮影するようにしています。「撮りたいものを撮る」みんなそれぞれに、撮影をしながら作品を増やしています。そして、9月に行われる秋期高文連写真展に向けてより多くの作品を撮っています。高文連だけではなく、たくさんのコンクール、大会に出場したいと思っています。今年は、写真甲子園に応募しましたが、残念な結果で終わってしまいました。もっと技術を高めなくてはいけないということを変えて実感し、今後の目標となりました。

新任の先生方



理科教諭  
春木 雄一郎

初めまして。今年度より、縁あって白樺学園高校の教員となりました春木雄一郎と申します。教科は理科を担当しており、部活ではアイスホッケー部の部長として、充実した毎日を送らせて頂いております。昨年度までは、道内の某学習塾にて数学、理科、社会を教えておりました。学生時代から、子どもに勉強を教える事が大好きで、つまづいている生徒に分かった喜びを与えてあげられた瞬間が何よりの生きがいでした。将来は、勉強に行き詰まった生徒を一人でも多く救ってあげられるような教員になりたいと考えておりました。

現在、「理科離れ」が多くのマスメディアで取り上げられるような社会問題となっており、様々な要因について議論がなされていますが、私は、日本の大学受験における「理系・文系」の区切りが生み出した弊害であると考えています。「理系は難しそう」「理系はやることが多い」こういった声が多く聞こえてきますが、結局は、単なる学習意欲の低下に帰着するのではないかと考えています。元来、学問というものは全て興味・関心から生まれているものです。私は、学校教育においてもそういったものを大切にしていきたいです。特に理科という科目は、教科書を読んだだけでは本当に大切なことの一割も理解できないため、毛嫌いする生徒が多いように感じます。これは科学における素養がないためではなく、興味・関心を抱くような授業に出会ってこなかったというのも一つの原因ではないかと考えています。「理科は楽しい!」「もっと知りたい!」こういった声が自然とクラスから聞こえてくるような授業ができるよう、日々精進していく次第であります。



英語科教諭  
福井 貴弘

英語教師として、現在日本国民がどれだけ英語力を要求されるのかという問題には常日頃興味を抱いている。日本を代表する企業である楽天やユニクロの社内の英語公用語化、東京大学が秋入学を採用するという流れも、昨今グローバル化優先の社会は副産物も生む。先日、楽天社内のグローバル化の理想とその現実の齟齬を揶揄した社員と三木谷社長の会話の記事を見つけた。

社員「社長、ソフト面の評判が非常に悪いです。早く対応しないと…」  
三木谷「In English.」  
社員「えっ」  
三木谷「In English, Please」  
社員「Ah... It's ok. There's no Problem.」  
三木谷「OK! Good English」

この事象が本当に起こったかどうかは不明だが、多くの人々が英語至上主義に困惑していることは間違いない。私もその一人であることは確かである。

グローバル化の最終的な目標は多くの人々とコミュニケーションを取ることであり、確かに明確で深奥なコミュニケーションを取るには言語運用能力が高くなければならない。しかしながら、コミュニケーションを取ることに最も重要なことは人々とのコミュニケーションを楽しめる人間である。白樺学園高校には潜在的にその能力を持っている生徒が多い。これは何よりも大切なことではないだろうか。彼らは私にコミュニケーションの楽しさやその重要性に改めて気づかせてくれた。今度は私が言語運用能力を生徒たちに教授することで恩返ししたい。



社会科教諭  
亀田 直紀

白樺学園高校に赴任してから、約5ヵ月が立とうとしています。4月に赴任した当初は初めて教壇に立つことへの不安や緊張と、環境の変化に戸惑う毎日でしたが、先生方や様々な方々のお陰で充実した日々を送らせてもらっています。私が担当している現代社会という科目は、幅広い知識と様々な角度から現代社会を捉える視野が必要となる科目です。ニュース、政治、経済、環境問題に始まり、哲学や宗教とは何かなど幅広い分野の中から現代の社会とのつながりを研究しながら授業を行っています。

私の勉強不足や経験不足もあり最初はうまくいかないこともありましたが、日々研究や反省をくり返し、次回の授業を計画しながら少しずつではありますが、成長していると感じています。生徒との信頼関係も徐々にでき教える事の楽しさや楽しさを感じながら日々教員生活を送っています。また、野球部の顧問も任されています。今、選手や指導者が野球に励むことができているのも先生方や学校関係者の方々、並びに野球部をいつも応援支えて頂いている様々な人のお陰です。感謝の気持ちを常に忘れず、私が高校時代に経験した甲子園という目標を生徒と一緒に達成し、たくさんの方々に恩返しできるように毎日一杯努力していきたいと思っています。今後共、よろしく願い致します。

卒業生の進路と平成24年度進学・就職希望状況

平成23年度進学・就職状況一覧

■進学・就職状況

種別	男子	女子	計	
進学	大学	39	4	43
	短大	3	5	8
	専門学校	14	6	20
	高等技術	11	0	11
	看護学校	0	1	1
就職	一般事業所	18	7	25
	公務員	5	1	6
	自営業・家事	1	4	5
合計	91	28	119	

■一般事業所の内訳

種目	男子	女子	計
管内	14	6	20
管外	4	1	5
道外	0	0	0
計	18	7	25

- 進学先 北海道教育大学函館/岩見沢 帯広畜産大/小樽商科大/信州大 関西学院大/明治大/立教大/法政大 他
- 就職先 明治乳業/パナソニック電工帯広/六花亭製菓 JA北海道/トヨタ自動車北海道 他

平成24年度進学・就職希望状況一覧

■進学・就職状況

種別	男子	女子	計	
進学	大学	30	3	33
	短大	1	6	7
	専門学校	20	10	30
	高等技術	6	0	6
	看護学校	1	2	3
就職	一般事業所	23	30	53
	公務員	7	0	7
	自営業・家事	0	0	0
合計	88	51	139	

■一般事業所希望の内訳

種目	男子	女子	計
管内	19	27	46
管外	4	3	7
道外	0	0	0
計	23	30	53

■近況

- 近年、大学を含め、進学先が益々全国に広がり指定校推薦の枠もあまり使わなくなってきている。
- 就職試験は、国語力と数学力が勝負です。高校生のうちに、しっかり勉強しておきましょう。

勉強合宿について

理科教諭 春木 雄一郎

7月30日から8月1日にかけての2泊3日、札幌大学セミナーハウスにおいて、勉強合宿を行いました。昨年は3年生のみの参加であったこの勉強合宿ですが、今年1年生から3年生まで、学習意欲の高い23名が参加しました。(バスの中、既に眠たそうな生徒もちらほら…)無事に到着し、この日は札幌大学学生支援オフィスの八重樫さんの多大なる御協力のもと、校舎案内、学食体験、札幌大学教授による模擬授業(なんと白樺生のためだけにわざわざ時間を割いてくれました。)と、生徒にとって非常に貴重な体験をさせて頂きました。中には、生まれて初めて大学の敷地内に入ったという生徒も多く、良い刺激になったのではないかと感じました。

2日目、打って変わってこの日は勉強合宿という名を体現するような日、朝から晩までひたすら座学です。私が受験生のとき「今日は朝から晩までずっと勉強してやる!」と意気込んで臨んだ日は数知れずありましたが、ほとんどは途中で挫折していました。これはなぜかと考えると、一番の要因はその時の環境にあったと思います。家で一人、机に向かって長時間勉強することは、生徒にとっても簡単なことではありません。それに対して、今回の勉強合宿は生徒が全員同じ部屋に集まり、川本先生と私の監督のもと、いい緊張感を保ちながら集中力を切らさずに勉強することができたと思います。

最終日、この日も帯広に帰る30分前までひたすら座学です。今回の合宿で、生徒一人ひとりがやらなければいけない課題は、最終的にある程度クリアできたのではないかと思います。なぜならば、流石に3日間の疲れは見受けられましたが、それ以上に生徒全員が充実感に満ちた顔をしていたからです。生徒からは、「すごく疲れたけど、生まれて初めてこんなにたくさん勉強した。」「来て良かった。頑張れたのが自信になった。」など、とても気持ちの良い言葉を聞くことができました。今回の合宿で得た勉強する習慣を是非継続させ、理想の進路が実現できることを願って止みません。